



瑞浪超深地層研究所の掘削状況

瑞浪超深地層研究所では、7月22日現在、主立坑は深度293.4㍍、換気立坑は深度243.4㍍まで掘削を行いました。

今後は、主立坑と換気立坑を深度300m程度まで掘削し、主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の掘削を進めていきます。



(深度：289.2m)

主立坑の坑底の様子（壁面にコンクリートを覆う作業）



(深度：238.6m)

換気立坑の坑底の様子（壁面観察）

来月の主な作業予定（8月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削作業（7月22日現在 主立坑：深度293.4㍍、換気立坑：深度243.4㍍）
- ②深度100㍍、200㍍の予備ステージでの水平ボーリング孔を用いた地下水の観測
- ③既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、O5ME06号孔）での水圧等の長期観測
- ④排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ⑤狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑥研究坑道の排水等に伴う環境管理測定
- ⑦表層水理観測（気象観測、地表の傾斜量の観測等）
- ⑧名古屋大学との共同研究（ひずみ計測等）
- ⑨東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測等

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記の連絡先までお願いいたします。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【E-メール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm》

東濃地科学センター 地域交流課（栢、川瀬、牧田、福島）

瑞浪超深地層研究所における壁面観察

瑞浪超深地層研究所の研究坑道の掘削は壁面観察等の研究を行いながら進めております。壁面観察では、坑道の壁面をスケッチしたり写真撮影を行い地下の様子を研究しています。

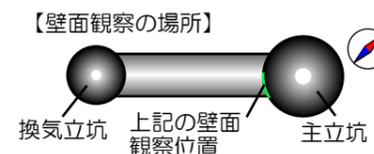
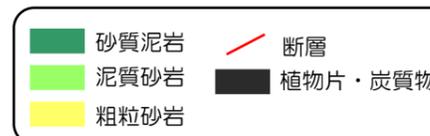
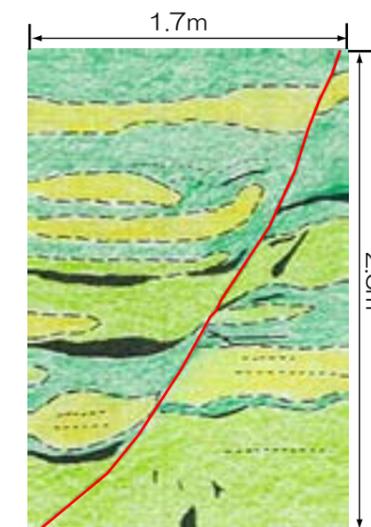
【主立坑：深度約115.6～118.2m】

(壁面のスケッチ)

(壁面の写真)



壁面観察の様子



瑞浪超深地層研究所を見てみませんか？

瑞浪超深地層研究所では、地下を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。希望される方は事前申込が必要となりますので、8月28日（木）までに住所、氏名、電話番号をお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【開催日時】平成20年8月31日（日）（9:30～11:30）

【内容】地下約200mの世界を体験していただきます。

【対象】小学校4年生以上

（ 工事現場での安全の確保のため、お子様の場合は小学校4年生以上の方に限らせていただき、保護者同行をお願いしております。また、歩行困難な方等はお控えいただきますようご協力をお願いいたします。 ）

※氏名等の個人情報は、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果 (平成20年6月分)

【採取日：平成20年6月10日】(工事排水、狭間川下流、湧水、狭間川上流、主立坑掘削土)
 【採取日：平成20年6月17日】(換気立坑掘削土) 単位：mg/ℓ (水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水	狭間川下流	※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3掘削土の 溶出量(主立坑)	※3掘削土の 溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	7.2	9.2	7.8		
浮遊物質	25以下	1未満	16		8		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと					検出されず	検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
トリクロロフル	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロフル	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
ジクロロメ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロメ	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロロメ	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロロメ	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロロフル	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロフル	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
1,3-ジクロロメ	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10以下	0.4	0.3	0.07	0.3		
ふっ素	0.8以下	0.4	0.1	10	0.1未満	0.2	0.5
ほう素	1以下	0.34	0.16	1.2	0.02未満	0.05	0.02
塩化物イオン	—			140			
アモニア、アモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.46					

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3 掘削土の溶出量は、管理の対象となり出た物質の量のことです。3ヶ月の集積空間放射線線量とは3ヶ月間の空間における放射線線の量を1時間あたりで表した値。
 ※4 参考値は、花木の森散策路における空間放射線線量率
 ※5 周辺地域の空間放射線線量率と同等
 ※6 3ヶ月の集積空間放射線線量 ※6から算出

【測定期間：3月28日～6月26日】

	参考値	測定結果
花木の森散策路における空間放射線線量率	0.08～0.12μSv/h 周辺地域の空間放射線線量率と同等 ※5	0.09μSv/h 3ヶ月の集積空間放射線線量 ※6から算出

【掘削区間毎の掘削土溶出試験結果 (主立坑)】

(単位：mg/ℓ)

項目 (参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間					
262.2m～ 277.2m	0.2～0.5	0.1以下 ～0.18	0.005以下 ～0.013	0.005以下 ～0.005	0.0005以下

【掘削区間毎の掘削土溶出試験結果 (換気立坑)】

(単位：mg/ℓ)

項目 (参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間					
220.8m～ 228.6m	0.2	0.1以下 ～0.13	0.005以下	0.005以下	0.0005以下

※参考値を超えた掘削土については、その全量を専門処理施設に搬出します。

訂正：地層研ニュース 6月号裏面の排水水等の測定結果の「狭間川下流」のほう素の値(0.13mg/ℓ未満)が間違っておりました。正しくはほう素の値(0.13mg/ℓ)となります。お詫びし訂正いたします。

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリー 展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「こぶし会 陶芸作品展」の作品を展示いたします。是非、交流館へ足をお運びください。

また、展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、お気軽にお問合せください。

【期間】8月1日(金)～8月31日(日) 10:00～20:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8 (入館無料)

【休館日】年末年始(月曜日は営業日となりました)

《展示に関するお問合せ先》

地層研ニュース表面の連絡先へお問合せください。

パソコン教習コーナーのご案内

瑞浪超深地層研究所では、パソコン教習コーナーを下記のとおり開催しております。参加希望の方は、日時、人数、お名前を、地域交流課まで、お知らせください。なお都合により、日時の変更をお願いすることがあります。

【期間】土、日、祭日を除く平日(9:00～17:00)

【場所】瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース

【内容】パソコンの基本操作(1～2時間程度)

【申込先】地層研ニュースの表面の連絡先へ、電話またはFAX、メールでお問合せください。

※お知らせいただいた氏名等の個人情報はパソコン教習コーナーの目的以外は使用いたしません。

注意：□は ※4 参考値